

令和7年度かながわ子ども虐待予防研究会第3回研修会

重篤な状態あるいは死亡となった 児童虐待事例を担当した 市町村保健師の経験

—その後も保健師であり続けることに着目して—

日時

2026年2月8日(日)

10:00~11:45 (受付9:30から)

会場

ウイリング横浜12階127研修室

定員

60名 (申込順)

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1丁目6-1 ゆめおおかオフィスタワー内

TEL 045-847-6666 (代表)

アクセス: <https://www.yokohamashakyo.jp/willing/access/>

講師

湘南鎌倉医療大学看護学部准教授: 公衆衛生看護学領域

江川 優子 氏

重篤な状態や死亡となった児童虐待事例を担当した保健師の語りを、講師自身の保健師としての思いも踏まえて紹介させていただきます。このような事例を担当した後も保健師として働き続ける経験に注目した現象学的アプローチによる研究の一部となります。どのような経験を有しても保健師としてあり続けるために我々同士でできることは何かを参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

参加費 会員・賛助会員・学生 1,000円 非会員 3,000円

申込受付期間

令和8年2月2日(月)

申込方法

QRコードにて

コード先の申し込み用フォームにてお申込みください



主催 かながわ子ども虐待予防研究会 (KanaCap) <https://kanaphncap.jp>